

こんげつ 今月の隕石薄片

なまえ
名前

Y-791428

しゅるい
種類

H3 コンドライト

み ばしょ
見つけた場所

さんみやく
やまと山脈

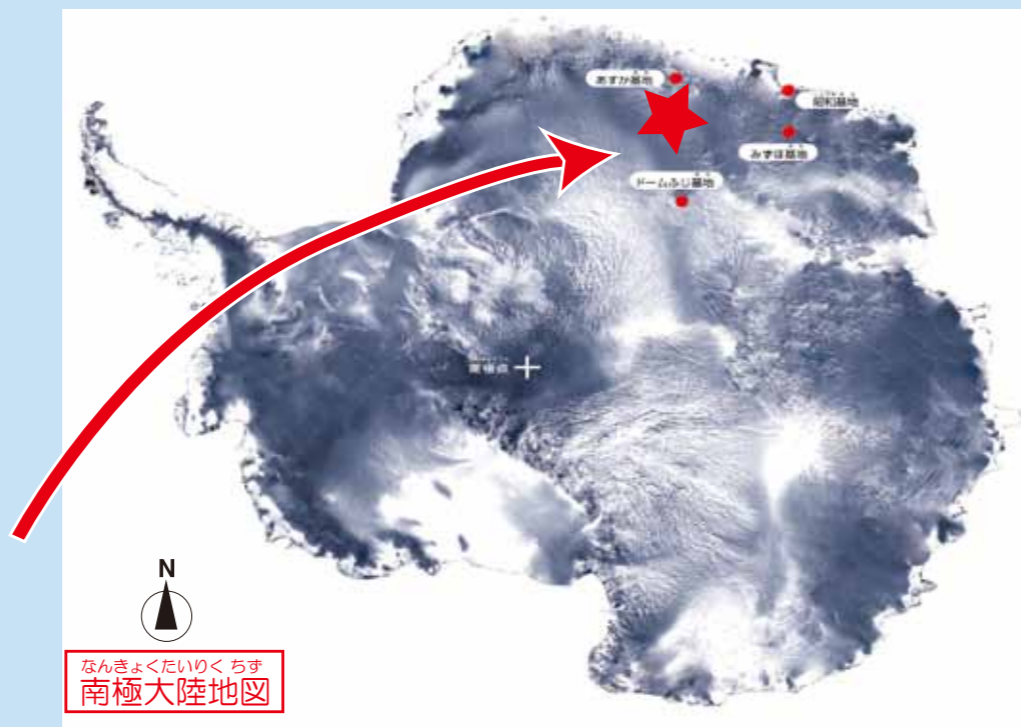
ふく おも こうぶつ
含まれている主な鉱物

きせき せき
輝石、カンラン石

ガラス

とくちょう
特徴

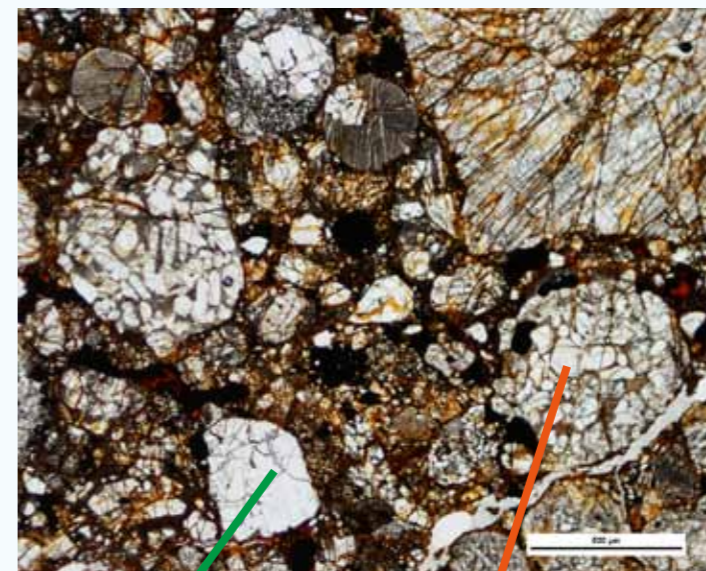
1979年、第20次隊が採取したタイプ3 コンドライトです。



がんせき いんせき
岩石や隕石は、すり減らして薄くすると、光が通るようになります。これをガラスに貼ったものを「薄片」といいます。
岩石も隕石も、いろいろな種類の鉱物の粒からできていますが、種類によって光の通り方がちがいます。
へんこうけんびきょう み いちまい
偏光顕微鏡で見ると、一枚の薄片から、鉱物の種類や結晶の構造など、たくさんを知ることができるのです。



かんさつ
観察のポイント

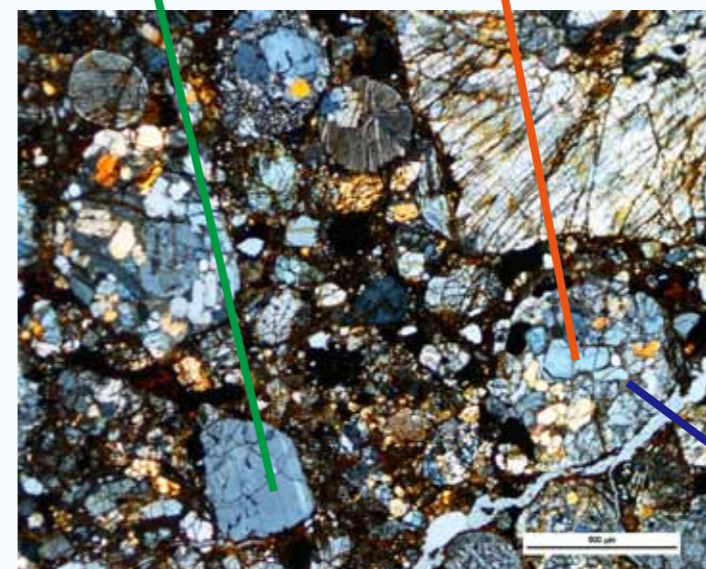


偏光板が1枚のとき

輝石

カンラン石

色が
変わります



偏光板が2枚のとき

ガラス

へんこうけんびきょう み はくへん ようす
「偏光顕微鏡」で見た、薄片の様子です。
偏光顕微鏡では、1枚または2枚の偏光板を通した薄片で、鉱物の種類や結晶の特徴を観察します。
偏光板はサングラス等にも利用されており、様々な方向に進む光の中から、一定方向に進む光だけを通すフィルターの役目をします。